

5

まちづくりの実現に向けて

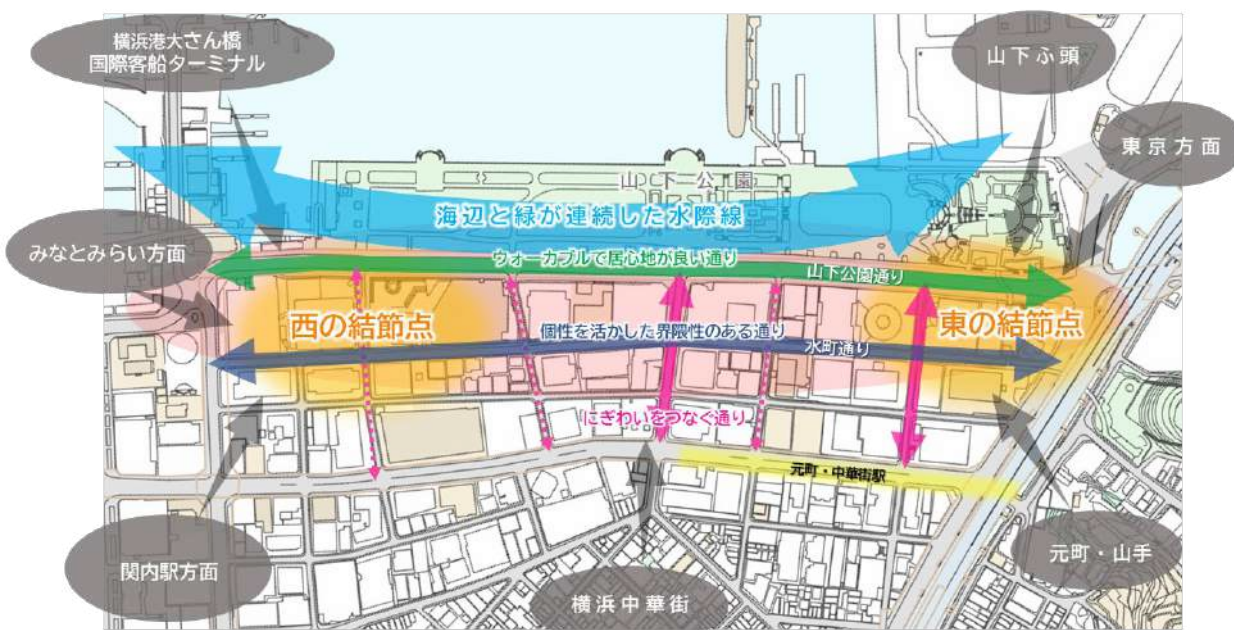
地区の将来像とのまちづくりの方向性を踏まえて、まちの概念図を次のとおり示します。

港町の歴史、美しい海や緑、新たな魅力とにぎわいが織りなす
水際線のまちづくりにより、世界の人々を魅了するまち

1 横浜の水際線の魅力を
活かしたまちづくり

2 今ある海辺と緑の風景と連動させた
新たな GREEN 空間の創出

3 国内外から人や企業を惹き
つける多彩な機能の導入



4 来街者を迎え入れる結節点
としての機能強化

5 環境に配慮した持続可能な
まちづくり

6 災害に強い
まちづくり

まちの概念図

■にぎわい軸の形成

地区内の主要な道路である山下公園通りや水町通り、水際線とまちなかをつなぐ動線について、ウォーカブルで居心地が良い通りや、界索性やにぎわいのある通りとなるよう、周辺のまちづくりやインフラ更新の機会を捉えて、通りの特性を活かしながら軸線の強化を図ります。

【山下公園通り】



ウォーカブルで居心地が良い通り

【水町通り】



個性を活かした界索性のある通り

【水際線とまちなかをつなぐ縦軸】



にぎわいをつなぐ通り



回遊を補完する通り

■水際線をつなぐ西と東の結節点の機能強化

上位計画では、本地区はみなとみらい地区や関内・関外地区、山下ふ頭との結節点や都市軸の交差部に位置づけられています。

本地区の西側と東側では、水際線の各地区をつなぎ、来街者を迎え入れる玄関口としてふさわしい機能を充実させるなど、結節点としての機能強化を検討していきます。

今後、周辺地区の動向や地区内のまちづくり検討の深度化に合わせて、地区に求められる都市機能や施設の複合化・共同化も含めた事業手法等の検討を進めていきます。

【西の結節点】

みなとみらい方面、関内駅方面から来街者を迎え入れる結節点であり、みなとみらい線日本大通り駅や大さん橋国際客船ターミナルに近接しています。

【東の結節点】

関内・関外地区と山下ふ頭の結節点であり、みなとみらい線元町・中華街駅や首都高速道路の出入り口に近接しています。